

J PFP 国際人口問題議員懇談会

Japan Parliamentarians Federation for Population

NEWS LETTER

July 2013

関係者各位

平素より大変お世話になっております。

この度、国際人口問題議員懇談会(JFPF)では、人口に関わる数々の問題を皆様にご紹介するニュースレターの配信をはじめました。人口問題に関わる国内外の情報に併せて、超党派議員連盟である国際人口問題議員懇談会(JFPF)の活動をより良く知って頂く機会となることを念願しております。

● 国際協力部会～7月11日世界人口デーに人口問題を考える



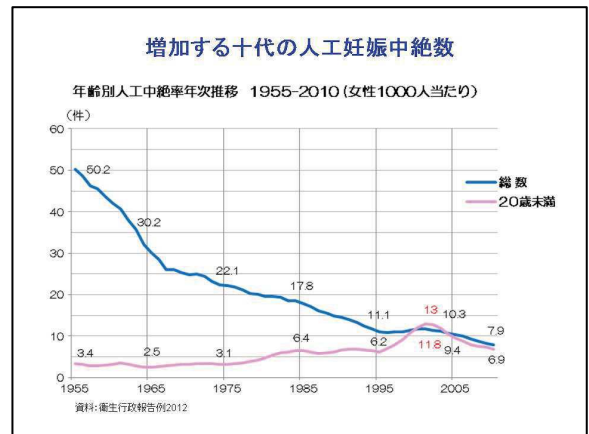
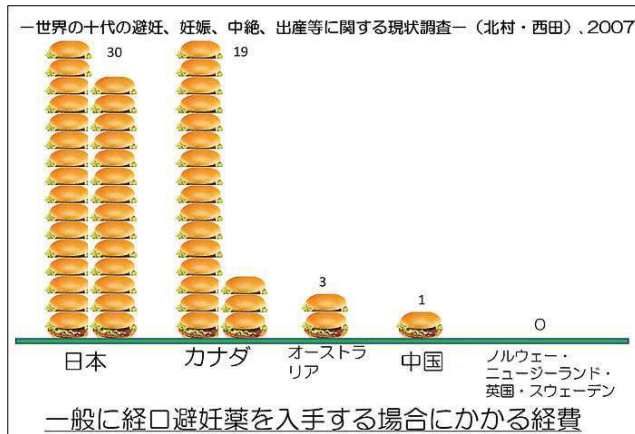
7月11日世界人口デー

この日は、1987年7月11日に世界人口が50億人を超えたことを契機として、世界の人口問題への関心を高める目的で提唱され、国連総会で制定されたものです。ご存じの通り、現在の世界人口は2012年について70億人を突破しました。

この世界人口デーに合わせ、JFPFは、国連人口基金(UNFPA)東京事務所の協力のもと、Adolescent Pregnancy(若者の妊娠)をテーマに国際協力部会を開催いたしました。

このセミナーには、一般の方々を交え、総勢50名程が参加し、生方幸夫 JFPF 副会長・国際協力部会長のもと、佐崎淳子 UNFPA 東京事務所長と北村邦夫 日本家族計画協会専務理事・日本家族計画協会クリニック所長による講演が行われました。

佐崎所長は「若者のリプロダクティブ・ヘルスと人口問題」と題して、世界の趨勢、特に若者が抱える問題について国際的な視点から問題提起を行い、北村所長は、日々性に関する問題を抱えクリニックを訪れる若者と実際に接している先生ならではの説得力のある説明を行いました。その中で北村所長は、日本は、世界的に見て、「思春期の若者の健康と権利への投資」が十分に行われている国といえるでしょうか? と参加者に向け問いかけました。



資料: 北村邦夫,西田良子,2007,『十代の望まない妊娠防止対策に関する研究』より北村氏作成

日本国内における若者の性の問題に長年取組んでおられる北村所長の見解は、読売新聞の医療サイト『ヨミドクター』に連載もされています(<http://www.yomidr.yomiuri.co.jp/page.jsp?id=81294>)。

本部会は参議院議員選挙期間中であり、JPFP会員の参加は限られたものでしたが、阿部俊子外務大臣政務官・JPFP 女性部会長から、「若者への性教育は非常に重要であり、今後、政府として若者の健康への支援に積極的に取り組んでいきたい」と発言がありました。



国際人口問題議員懇談会(JPFP)事務局
 (公財) アジア・人口開発協会(APDA)
 TEL: 03-5405-8846
 FAX: 03-5405-8845
 E-mail: apda@apda.jp
 Website: <http://www.apda.jp>

次回は 2013 年 8 月に配信いたします。

入会をご希望の方は、apda@apda.jp までご連絡くださいますようお願い申し上げます。